

第46回 中国中学校バドミントン選手権大会要項

- 1 目 的 本大会は、中学校教育の一環として中学校生徒に広くバドミントン実践の機会を与え、技能の向上とアマチュアスポーツ精神の高揚をはかり、心身ともに健康な中学校生徒を育成するとともに、中学校生徒の相互の親睦をはかるものである。
- 2 主 催 中国中学校体育連盟 鳥取県教育委員会
米子市教育委員会 中国地区バドミントン協会
- 3 主 管 鳥取県中学校体育連盟バドミントン専門部 鳥取県西部地区中学校体育連盟
鳥取県バドミントン協会
- 4 後 援 鳥取県中学校長会 (公財) 鳥取県スポーツ協会 新日本海新聞社
- 5 会 期 令和7年8月5日(火)～7日(木)
- 6 日 程 8月5日(火) 公式練習・監督会議
8月6日(水) 競技開始 9:00(団体戦)
8月7日(木) 競技開始 9:00(個人戦)
※開・閉会式は行わない。
- 7 会 場 米子産業体育館 〒683-0802 米子市東福原 8-27-1
- 8 参加資格 (1) 参加者は、各県中学校体育連盟加盟の学校に在籍し、学校教育法第1条にもとづく当該中学校生徒であること。
(2) 中国中学校選手権大会拠点校部活動参加規程に基づき、拠点校で活動している生徒は参加することができる。
(3) 年齢は、平成22年4月2日以降に生まれた者に限る。
(4) 前項以外の生徒が参加を希望する場合は、その年度の6月30日までに、各県中学校体育連盟を通して、(公財)日本中学校体育連盟に申し出ること。
(5) 参加資格の特例
◎学校教育法第134条の各種学校在籍生徒
① 学校教育法第134条の各種学校(1校以外)に在籍し、各県中学校体育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。
② 参加資格を得た各種学校は別に定める条件を具備すること。
詳細は「令和7年度中国中学校体育連盟役員理事名簿 規約・諸規程」を参照のこと。
◎地域クラブ活動に所属する中学生
① 地域クラブ活動に所属し、都道府県中学校体育連盟またはブロック中学校体育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。
② 参加を希望する地域クラブ活動は以下の条件を具備すること。
1) 中国中学校選手権大会の参加を認める条件
ア 中国中学校体育連盟の目的及び長年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。

イ 生徒の年齢及び修業年限が我が国の中学校と一致している（中学校等に在籍している生徒であること）。

ウ 地域クラブ活動にあつては、日常継続的に代表者もしくは指導資格を有する指導者の指導のもとに、適切に行われていること。

エ 『学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン』（令和４年１２月２７日スポーツ庁・文化庁発出）の「Ⅱ 新たな地域クラブ活動」を遵守していること。

オ 当該競技を管轄する中央競技団体もしくは都道府県競技団体に登録されていること。かつ同じ内容で都道府県中学校体育連盟に登録していること（登録費については、各県中学校体育連盟の判断に委ねる）。

カ 各県における予選会となる全ての大会において、競技役員や審判など運営上必要な事項に協力すること。

キ 地域クラブ活動で中国中学校選手権大会につながる大会に参加する場合、在籍中学校での大会参加は認めない。その逆も同様である。

2) 中国中学校選手権大会に参加した場合に守るべき条件

ア 中国中学校選手権大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。

イ 中国中学校選手権大会参加に際して、地域クラブ活動においては、責任ある代表者・もしくは指導資格を有する指導者が生徒を引率すること。また、万一の事故発生に備え、傷害保険等に参加するなどして、万全な事故対策を立てておくこと。

ウ 中国中学校選手権大会開催に要する経費については、必要に応じて、応分の負担をすること。

エ 団体競技における地域クラブ活動名での出場は、１チームのみとする（複数のチームの参加はできない）。

3) 参加を認めない場合

ア 中国中学校選手権大会参加申込に際して、参加条件に虚偽の内容が判明した場合は参加を認めない。

イ 在籍生徒が県をまたぐことを原則認めない。

※ ただし、以下のすべてを満たす場合に限り特別に認める。

- ・生徒が在籍する学校に該当する部活動がない場合。
- ・中国ブロック内の隣接する県である場合。
- ・県内に『該当する地域クラブ活動がない』または、『地理的条件などにより、日常的に練習参加することが実質不可能である』場合。

4) バドミントン競技部細則

『令和７年度全国中学校体育大会地域クラブ活動の参加資格の特例競技部細則（バドミントン）』（令和６年１０月１１日 日本中体連発出）に準ずる。

(6) 各県中学校体育連盟主催の競技大会において、中国大会参加資格を得たチームまたは個人とする。

(7) チーム編成は、同一チーム単位で編成されたものとする。

(8) 夏季大会に限り、同一年度内の参加は全種目通じて一人一回とする。

(9) 個人戦は、(6)の項の個人戦の部より選抜されたものとする。

(10) チーム・選手の引率・監督は、出場校（チーム）の校長・教員・部活動指導員※
1、地域クラブ活動の代表（指導）者とする。なお、部活動指導員は、他校の引率者及び依頼監督にはなれない。

(※1→ここでの部活動指導員は、学校教育法施行規則第78条の2に示されている者)

- (11) 中国中学校選手権大会では、外部指導者をおくことができる。外部指導者は、出場校の校長が適切であると認めた者とし、所定の「外部指導者確認書（校長承認書）」に必要事項を記入し、大会事務局に参加申込み時に提出する。但し、当該校以外の中学校教職員は、外部指導者になれない。また、同一人が複数校の外部指導者になれない。（地域クラブ活動は該当しない。）
- (12) 中国中学校選手権大会の参加について、校長・教員・部活動指導員が引率できないと校長が判断した場合、「中国中学校選手権大会引率細則」により、校長が適切であると承認した外部指導者に引率及び監督の資格を認める。その際には、所定の書類を実行委員会に提出すること。
- (13) 本大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、部活動指導員、外部指導者、トレーナー等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であること、地域クラブ活動の指導者においては、日本スポーツ協会公認指導者の処分等に該当していない者であることとしている。校長（代表者）はこの点を確認して、大会申込書を作成する。なお、外部の指導者は校長から暴力等に対する指導処置を受けていないこととする。
- (14) 個人情報の取り扱い（利用目的）
大会の主催者は、個人情報保護に関する法令を遵守し、中国中学校体育連盟個人情報保護方針・規程に基づき、取得する個人情報について適正に取り扱う。取得した個人情報は、競技大会の資格審査・競技大会運営上必要なプログラム編成及び作成・ホームページ・掲示板・報道発表（記録集）等、その他競技運営及び競技に必要な連絡等に利用する。

- 9 大会負担金
- (1) 登録選手（生徒のマネージャーは含む）一人につき、2,000円とする。
なお、団体戦・個人戦を兼ねて登録する場合も2,000円とする。
 - (2) 納入方法は、各県中体連の事務局の指示による。
 - (3) 参加申込締切以降の参加取り消しや不出場の場合、負担金の返金を行わない。

- 10 参加制限
- (1) 団体戦の部
 - ①各県代表とし、男・女各2チームとする。但し、開催県は男・女各4チームとする。
 - ②各チームの編成は、監督1名（出場校の校長・教員・部活動指導員・引率者として適切であると学校長が承認した外部指導者・地域クラブ活動代表（指導）者）、コーチまたはマネージャー1名（出場校の校長・教員・部活動指導員・外部指導者・生徒・地域クラブ活動指導者）、選手5～7名とする。コーチ・マネージャーは必ずしもつけなくてよい。
 - (2) 個人戦の部
 - ①各県代表とし、シングルス男・女各3名、ダブルス男・女各3組とする。
但し、開催県はシングルス男・女各4名、ダブルス男・女各4組とする。
 - ②一校（1チーム）ごとに団体戦と同じ監督1名（出場校の校長・教員・部活動指導員・引率者として適切であると学校長が承認した外部指導者・地域クラブ活動代表（指導）者）、コーチ（外部指導者・地域クラブ活動指導者）またはマネージャー（出場校の校長・教員・部活動指導員）1名とする。コーチ・マネージャーは必ずしもつけなくてよい。
 - ③単と複を兼ねて出場することはできない。

- 11 競技規則 令和7年度（公財）日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程及び同公認審判員規程並びに中国大会運営細則による。
- 12 競技方法 (1) 団体戦はトーナメント戦方式とする。ただし、各チームの初戦となる試合については、勝敗が決しても、すべての試合をおこなう。また、3位決定戦をおこない、決勝で負けたチームと3位決定戦で勝利したチームが対戦していなかった場合、代表決定戦をおこなう。試合は単1・複2とし、複一単一複の順で競技する。但し、同一選手が兼ねて出場することはできない。
(2) 個人戦はトーナメント戦方式とする。
(3) 個人戦は全国大会への第3代表決定戦を行う。
- 13 使用器具 (公財)日本バドミントン協会検定・審査合格用器具及び令和7年度(公財)日本バドミントン協会第1種検定合格球を使用する。大会で使用するシャトルは、本部が用意する。
- 14 表彰 (1) 団体戦1～3位までのチームおよび登録選手（生徒のマネージャー含む）に、中国中学校体育連盟より賞状を授与する。
(2) 個人戦1～3位までの選手に、中国中学校体育連盟より賞状を授与する。
(3) 団体戦優勝チームには優勝旗を、個人戦優勝者には優勝杯を授与する。また、前年度優勝チーム・優勝者に対しては、優勝旗・優勝杯返還時にレプリカを贈呈する。
- 15 参加申込 (1) 期限 令和7年7月23日（水）＊原本は監督会議に持参
(2) 申込 申込用紙に必要事項を記入し以下の①～③を提出すること。
【出場チーム】
①代表者印を押したPDFデータの送信（下記メールアドレスまで）
②電子処理用に電子データの送信
③原本を監督会議に持参
【各県専門委員長】
各県大会終了後すぐに各地区順位の一覧表を作成し、電子データで送付する。
(3) 申込先
〒680-0853 鳥取県鳥取市桜谷227番地
鳥取市立桜ヶ丘中学校
鳥取県中学校体育連盟バドミントン専門部専門委員長 油谷哲志 宛
TEL：0857-22-8301 E-mail：yutani_tt1@g.torikyo.ed.jp
- 16 組合せ (1) 団体戦は令和7年8月5日（火）の監督会議において抽選し、決定する。
(2) 個人戦は令和7年7月24日（木）に、レフェリーもしくは、デピュティレフェリーの指示のもと、開催県実行委員会が開催県中体連役員との間で厳正に執り行う。
- 17 会議 (1) 専門委員長会
日時 令和7年8月5日（火）13:00～14:00
会場 米子産業体育館 会議室
(2) 監督会議
日時 令和7年8月5日（火）15:00～
会場 米子産業体育館 第1会議室

18 宿 泊 大会出場者（登録選手および引率者）は、必ず大会実行委員会を通じて宿泊申込みを行うこと。大会中の連絡等については宿舎を通じて行い、宿泊をしないところについては代表者に連絡する。詳細は、別紙宿泊要項参照のこと。

- 19 そ の 他
- (1) 競技中の疾病・傷害については、応急措置をする。
 - (2) 本大会で次の成績のものは、令和7年8月19日（火）～23日（土）に開催される第55回全国中学校バドミントン大会（大分県大分市）の出場権を得る。
 - 団体戦 男・女各上位2位（男女各2チーム）
 - 個人戦単 男・女各上位3位（男女各3名）
 - 個人戦複 男・女各上位3位（男女各3組）

＊出場権を得た団体は参加申込書を速やかに送付できるようにお願いします。

- (3) 試合の服装は、（公財）日本バドミントン協会審査合格品とする。

なお、防汗や整髪のためのハチマキは可とする。

- (4) 上衣の背面中央部（縦20cm×横30cmの範囲）に見やすい文字で、中学校（チーム）名と姓（同姓の場合は、名前の一部を小さく入れる）を明記すること。また、文字の高さを6～10cmとする。チーム名の2行表示は可とするが、2行表示された文字列の高さの合計を6cm～10cmに収めること。ただし、ゼッケンのチーム名とプログラム対戦表のチーム名の略称表示が同じでなければならないため、可能な限り1行表示が望ましい。※2



【例】○○○中 名前 鳥さん



【例】鳥取砂丘ジュニアバドミントンクラブ
名前 鳥さん

※2 チーム名表示は、**鳥取砂丘Jr.** **Sakyu Jr.** 等の一般的略称表示を可とするが、各県中学校体育連盟バドミントン専門部専門委員長の確認を要する。

- (5) 大会前の練習は、米子産業体育館で8月5日（火）12:00～15:00とする。
- (6) 病気や事故などによる選手または監督、マネージャー・コーチの変更は、監督会議をもって最終とし、監督会議開始までに変更届を提出すること。
- (7) 前年度優勝者（チーム・個人）は、優勝旗・優勝杯を持参すること。
- (8) 本大会は、別添「令和7年度 中国中学校体育連盟 中国中学校選手権大会実施上のインフルエンザ・コロナウイルス感染症等に関わる対応について」に従って開催する。
- (9) 中国大会開催は2日間以内となっているが、天候等の関係で順延または競技方法の変更もあり得る。
- (10) 万が一、大会が会期・予備日内に全く開催できない場合は、別日程は設けず中止とする。その場合、全国大会出場チーム（選手）は、団体・個人とも各県1・2位チーム（選手）による抽選により決定する。抽選者は①監督②各専門委員長とする。

(詳細は「令和 7 年度 中国中学校体育連盟 役員名簿 規定・諸規定」による。)

- (11) 万が一、大会が中止となった場合は、大会負担金は返金する。ただし、全額返金できない場合がある。(詳細は「令和 7 年度 中国中学校体育連盟 役員名簿 規定・諸規定」による。)
- (12) 大会に関する問い合わせについては、各チームの責任者が各県専門委員長を通して行うこと。